



復刊第133号
題字 吉岡弥生

巻頭言

会長 山崎倫子

あけましておめでとございます。諸先生にはご機嫌よく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年五月開催の国際女医学会、西太平洋地域会議も近づいて参りました。昨春以来サーキュラー第一報を国際役員及び関係諸国に送り宣伝に務めております。数々の問合せがきておりますが経済不況がどこでも大きな問題になっているようですが、反応は確実で多数の参加を期待し準備を進めているところです。

西太平洋地域会議副会長フィリピン Dr. Fe Dizonも九月に来日され綿密な打合せも済ませました。さらに会場、ホテル、食事などハード面について組織委員一同京都に集合し細かく点検するとともに現地で積極的にご協力下さる諸先生とも十分な打

より日本女医学会が創立されて昨年四月で九十周年になりました。記念行事を一年遅らせて西太平洋地域会議の成功を期し、九十周年記念事業にかえさせて頂く次第でございますので、今会議を意義あるまた楽しい思い出とするの出来ませう諸先生方とともに大きな期待をしている次第です。

まだ登録のお申し込みのない方は是非ふるってご参加ください。お待ち申上げます。英和の同時通訳も行いますし、楽しい国際交流や社交行事もお楽しみください。

今や地球環境は悪化の一途を辿っています。昨年ブラジルで開催された一八二カ国のコンセンサスを得た地球サミットの目標が後に続く子孫のために必ず達成されるよう一人一人の努力から進めたいものです。

また冷戦は終焉したとはいえ世界各地でさまざまな形態の紛争が勃発しています。人間同士が殺しあう残酷な戦闘行為に加えて、世界経済の後退、他方数百万人もが飢餓によりなすすべもなく死んでゆく無惨な光景が報道されています。

平和で自由なそして豊かな生活を享受する私たちは、この幸せを感謝するとともに何らかの形で貢献してゆきたいものと思います。

国内的には目下AIDSが深刻な問題になっています。その予防教育も中学や高校で積極的に行われています。教育に携わる若い先生方も試行錯誤の状態にあるのだらうと思わ

もくじ

- 巻頭言..... 山崎 倫子 (1)
- 第15回学術講演研修会
患者が求める医療の心——臨床仏教学の提言
..... 西来 武治 (2)
- 支部だより
宮城支部だより..... 三品 房子 (3)
- 私の大学
昭和大学医学部..... 松井ひろみ (4)
- “狛江すこやか病児保育室”を開設して..... 野澤 良美 (4)
- 第38回日本女医学会総会のご案内..... (5)
- 平成3年度日本女医学会会員学位取得者一覧表..... (6)
- 理事会議事録..... (7)
- 会員動静..... (8)
- 編集後記..... (8)

れますが、TVなどでみる限り、何か大切なこと——性の認識、役割が忘れられているのではないかと不安と焦燥を感じます。もっと本質的な性の役割とか人間愛に基づく教育が必要ではないのでしょうか。まるでコンドームの宣伝のようだといったくなります。母性であり女医である先生方が求められているように思われます。

昨年のワークショップは好評と伺

いようこんでおりますが、研修会やワークショップに取りあげてほしい問題がありましたら是非お申し出ください。

西太平洋地域会議が終了するまでは、目下一筋に会議の万全な準備に邁進して参ります。
京都でお会いしましょう!!を合言葉に、今年も諸先生にとりまして良い年でありますようお願いいたします。

第38回日本女医学会定時総会のご案内

新しい年を迎え、諸先生方にはますますご清祥の御事とお慶び申し上げます。
 さて、第38回日本女医学会定時総会を京都におきまして下記の日程のように開催いたします。
 なお、本年は5月20日～22日まで、第5回国際女医学会西太平洋地域会議が開催されます。
 皆さまお誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 程 表

5月20日(木) 5月22日(土)	西太平洋地域会議	
5月22日(土)	フェアウェルパーティー (日本女医学会懇親会を兼ねる)	新都ホテル「陽名殿」 午後6時～午後8時
5月23日(日)	評議員会	ホテル京阪「さくらの間」 午前10時～午前12時
	総 会	京都市立アバンティールホール 午後1時～午後3時

- 期 日 平成5年5月23日(日)
- 会 場 京都市立アバンティールホール
〒601 京都市南区東九条西山王町31 アバンティール9階
電話：(075)671-8188
- 会 議 受付 午前9時30分～午前12時
評議員会 午前10時～午前12時
ホテル京阪「さくらの間」
総 会 午後1時～午後3時
京都市立アバンティールホール
- 懇 親 会 5月22日(土)、フェアウェルパーティーを兼ねて行います。
- 宿 泊 ホテル京阪・新都ホテルをご用意いたしております。
お早めにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。
- 会場への交通 京都駅八条口(新幹線口)より徒歩2～3分。
- 申し込み 同封の葉書にて2月末日必着にてお願いいたします。

平成5年1月

日本女医学会 会長 山崎 倫子
 京都支部 支部長 松本 文絵

私の大学「昭和大学医学部」

目黒支部 松井ひろみ

昭和大学は、昭和三年三月、「優れた臨床医の養成」を旗印に、昭和医学専門学校としてスタートしました。上條秀介先生が、母校東大医学部のように学者を育てるのではなく、優れた臨床医を育成しようと、友人の石井吉五郎、岡田和一郎両先生の協力を得て設立されました。しかし、進歩する医学に対応し、社会のニーズに因るため、臨床医の養成だけでなく、基礎の研究者、医学者の養

成にも並行して力を注がなければならぬ時代を迎え、昭和二十一年に、昭和医科大学に。さらに三十九年には、薬学部薬学科が設けられ、昭和大学に校名が変更。翌四十年には、山梨県富士吉田市に、富士吉田校舎が開設され、めまぐるしく発展しながら、五十二年の歯学部歯学科の設置によって、唯一の医、歯、薬三部を持つ私立医系総合大学として、現在ユニークな存在となっています。

大きな特色は、この医、歯、薬の学生たちが、富士吉田校舎で一年間の寮生活を送ることです。美しい富士を背景にした広大なキャンパス、豊かな大自然に囲まれ、三学部が、共同生活をおくる、「同じ釜の飯を食う」ことで、卒後も、共同研究、臨床面で、大きな成果をあげています。

医学部は既に、六十四年の歴史を持ち、多数の優秀な医学者、医師が誕生していますが、特に創設の目的である疾病の治療や予防に加え、人が健やかに幸せな人生を送る手助けとして役立つ医師の養成というところから全国各地で、地域医療の先駆者として貢献をしています。

しかし、何といっても本学の問題は女子学生がまだに少ないことです。現在、女子学生の割合は、平均一六％になりましたが、私の在学当時は、私たちの学年に一〇％、七人女性がいただけで、上にも、下にもほとんど女性がおられませんでした。キャンパスには暖かい雰囲気があるし、研究に、臨床に、才能を発揮できる医系総合大学であると思います。ぜひぜひより多くの女性に入学して欲しいと思います。

会食をし、その後、研究助成金を受けられたお二人の先生の研究発表がありました。

(1)山口慶子先生
網膜の移植と現況について

(2)森洋子先生
パセドウ氏病術後の甲状腺機能に関する因子の検討

十一月例会は同じく議題審議の後、会食、さらに二人の先生の研究発表がありました。

(1)岡山道子先生
気管支喘息における気道過敏性亢進の機序

(2)田中美江先生
アトピー性皮膚炎患者の環境抗

原に対する反応性の研究
それぞれすばらしい研究発表でしたが、時間が足りず残念な所がありました。

今後も研究助成金の事業は続けて行き、私たちとしては、これらの先生方に日本女医学会に入会してもらい、日本女医学会の学術研究助成金制度に推薦したいと考えております。また、医学はもとより、社会的活躍の目ざましい長池先生を見習いながら、何か女医学会として出来る地域活動はないかと種々検討を重ねている所でございます。

皆様どうぞ良いお年をお迎えください。念じております。

男女雇用機会均等法が制定され、女性の職場進出に伴って育児に対する考え方、接し方も時代とともに変わりました。少産少子の時代、仕事をもち母親の育児に少しでもお役にたてたらと願う、小児科医の妹と二人協力して、狛江すこやか病児保育室をスタートしてやっとなんが経過しました。

地域医療に携わって三十数年、学校医、保育園・幼稚園医をいくつも引き受けましたが、母親の職場に保育園から「お子さんの具合が悪いので引き取りに来て下さい」と電話が入り、仕事を放り出して保育園から子どもを抱えて汗だくで診療室に飛びこんでくる母親の姿をよく見かけ、同じ女性として、母親として、仕事をもつ身として、この苦勞や悩みを何とかお手助けできないものかと思いつづけてきました。

育児と仕事の両立の大変なことはいうまでもありませんが、まして子どもが病気の時の母親の不安は大変なものです。子どもの症状の急変に対応できる医師がついていれば母親も安心して仕事に打ちこめます。

こんな願いで始めた仕事ですが、参考になる事例はほとんどなく、手探りの状態で、狛江市の担当の皆様

からもアドバイスを頂きながら、案内書、規則書、利用方法などを決めていきました。病院の二階を増築し、快適温度、換気、採光、また騒音を考慮して二重のサッシにするなど、理想に近い環境を整備し(大学で環境衛生学の講義をしているので)保母さん手製の工夫をこらした保育具などを整え、幸いスタッフにも恵まれ、好評をいただいております。

全くのボランティアで始めた病児保育室ですが、狛江市では議会の全員賛成で予算をつけていただき、行政の本格的な支援を仰ぐことになりました。東京都で初めての公的助成ということになりました。

全国の医療機関でも必要性を感じてはいるのですが、医師の人員費など考えますと、経済面で成り立たせることはほとんど不可能です。

本年四月病児デイケアパイロットステイの法案が参議院で確定しました。厚生省も出生率低下の続く中での子育て支援システムのひとつとして、病児保育の位置づけ、病児デイケアパイロットステイの実際のな施行のためご尽力頂いておりますので、私どもも今後全力でがんばってまいります。

狛江すこやか病児保育室を開設して

都下東支部 野澤良美

理事会議事録

日時 平成4年9月26日(土)
場所 日本女医学会 会議室

出席者 山崎、佐藤、白橋、野呂、青井、石原、稲生、白浜、中濱、二村、橋川、橋本、平敷、小田、川田、栗原、小出、佐々木、関口、田中、野澤、松井、丸茂、吉崎、森田、土井、藤岡、松本(京都支部長) (以上28名)

欠席者 野本、三好、明石、佐野、南雲、大原 (以上6名)

庶務報告 吉崎理事
以下、別紙とおり報告。——承認

会計報告 栗原理事
平成四年七月、八月月分収支別紙とおり報告。——承認

各部報告

〈広報部〉 中濱常任理事
9月14日、一三二号日本女医学会誌 割付編集会議。

〈事業部〉 白浜常任理事
安田信託銀行へ年金資料を提出。

〈学術部〉 平敷常任理事
第15回学術講演研究会案内用往復はがきを校正中。(10月15日付、全会員に発送予定)

国際女医学会西太平洋地域会議参加 国役員に地域会議スケジュール表 送付。(野本国際連絡書記理事会 欠席につき代理として橋本常任理

事より報告)

議事検討事項

一、会員増加について
別紙、女医会地区ブロック表に基づき、理事役員一同担当ブロックを決め、会員の増加に努める。

二、西太平洋地域会議について
(1) JTB提出の資料について
・JTB提出の資料に基づき会議の会場、時間等につき検討。
特別講演演題
・特別講演講師候補推薦、折衝する。

(2) 「高年齢女医の医学活動並びに社会活動」アンケート中間報告
・アンケート発送数一、四四一に対し、9月26日現在六五〇を越える回答あり。

(3) 募金活動状況(9月24日現在)
一般会員 二四四件 五〇九万円
薬品会社、企業 七六万円
(合計) 五八五万円

(4) コングレスバッグについて
(内容)
・バッグの色、型等につき検討。
・バッグの中身はボールペン、メモ用紙、傘等(外国会員のみのみ)。
・バッグの発注は川田理事にお願いする(発注数四〇〇)。

(5) パーティー余興
・女医会より有志のコーラスグループにご出演願う。

(6) 阿波踊り等、出席者も参加できる踊りを企画する(小出理事担当)。

(7) オーストラリア会員同伴の子

供のお世話について
・京都、松本支部長に委嘱する(引き受け確定)。

(8) 看板、掲示板デザイン
・会場、ならびに会場周辺等に統一したデザインの看板、掲示板を用意する。
・外国会員を空港に迎える際の掲示板も用意する。

(9) 日医生涯教育申告票
・会議出席者には日本医師会生涯教育認定票交付の手続きをすすめる。(担当、松本支部長)

三、その他
(1) 職員就業規則について
別紙、配布資料に基づき検討。

(2) 電子タイプライター購入について
IBM電子タイプライター6825と、タイプデスクTDSを購入する。(見積金額二〇二、〇八六円)
事務局に留守番電話を設置する。以上

副会長(庶務部担当) 佐藤
石原、二村、吉崎

理事会議事録

日時 平成4年11月21日(土)
場所 京王プラザホテル47階「あさひ」

出席者 山崎、佐藤、白橋、野呂、石原、稲生、白浜、中濱、二村、野本、橋本、平敷、小田、川田、栗原、田中、南雲、松井、丸茂、森田、吉崎、大原 (以上22名)

欠席者 野本、橋川、三好、明石、小出、佐々木、佐野、関口、野澤、土井、藤岡 (以上11名)

庶務報告 吉崎理事
以下、別紙とおり報告。——承認

会計報告 栗原理事
平成四年十月分収支別紙とおり報告。——承認

国際女医学会記念事業基金口会計、別紙とおり報告。

各部報告

〈広報部〉 小田理事
10月30日、日本女医学会誌一三二号を全会員に発送。

平成5年1月、一三三号会誌発行予定。

〈事業部〉 白浜常任理事
11月5日、安田信託銀行と事業部、庶務部、会計部、年金についての話し合いを行う。

〈学術部〉 橋本常任理事
11月21日、第15回学術講演研究会開催。講演会参加予定者は八十九名、懇親会参加予定者は五十六名。

〈渉外部〉 野本常任理事
11月14日、「(財)市川房枝記念館創立30周年記念の集い」出席。
11月19日、「国際婦人年連絡会全体会議」出席。

議事検討事項
一、年金について
・七月末に提出した年金の総合資料を検討の結果、本会の年金は

健全な運営がなされている。
・現在の年金の給付利回り六・五%に対し、貸し付け信託の利回りは四・八%である。
・将来の給付に支障がないよう今後の経済状況を鑑み更に検討する。(白浜常任理事より報告)

二、定時総会について
平成4年度定時総会…平成5年5月23日 京都、アバンティールにて
・総会終了後の懇親会は5月22日、西太平洋地域会議フェアウェルパーティを兼ねて行う。
・総会設置に関しては京都支部にお願いする。

三、平成5年1月理事会について
平成5年1月24日、西太平洋地域会議会場の下見、新年会を兼ねて京都で行う。
・交通費は会より支給。
・新幹線は下記の時間を用意する。(下記以外に乗車される方、また宿泊に関しては各自御用意していただく。)

(往) 1月24日 東京発9:00 ↓ 名古屋発10:52 ↓ 京都着11:35
(復) 1月24日 京都発18:08 ↓ 名古屋発19:01 ↓ 東京着20:56

四、西太平洋地域会議について
・募金状況(11月18日現在)
会員 二九二件 六九五万二千円
一般 四件 八万円
薬品会社、企業 二〇件 一四三万円
(合計) 八四六万二千円

平成3年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表 (学術部)
平成4年12月10日

全国医科大学80校に調査依頼し59校より回答あり、結果324名の学位取得者中17名の既会員があり、会員外で住所判明の314名に入会のお誘いをし8名の入会あり。(※印は平成2年度学位取得者)

支部	氏名	出身校	卒年	論文名
岩手	駒井好子	岩手医大	s 61	ヒトの角膜と強膜を構成する膠原線維の立体配列とその意義—透過電顕と細胞消化/走査電顕法による観察—
宮城	金田京子	東北医大	s 58	ヒト骨髄間質細胞に対するモノクローナル抗体の作製と持異性の検討
"	吉田晶子	富山医大	s 60	水晶体—硝子体切除術後の家兎網膜ミュラー細胞におけるglial fibrillary acidic proteinの発現について
埼玉	高野真綾	東女医大	s 56	ぶどう膜炎におけるロイコトリエンB4(LTB4)—特にペーチェット病を中心に—
中央	※満川博美	浜松医大	s 59	ラットにおけるハロセン肝障害に対する小柴胡湯の効果
目黒	遠藤真理子	東女医大	s 59	SHRの腎機能に及ぼすAngiotensin converting enzyme inhibitor及びcalcium channel blockerの影響
東女医学内	大池靖子	東女医大	s 62	ラット十二指腸のニューロペプチドY及びソマトスタチンに対する反応性の生後発育に伴う変動
"	斎藤明子	東女医大	s 49	高分化型(Edmondson I型)細胞癌の病態の検討
"	柴田美江	東女医大	s 62	Bombesinの神経薬理学的作用に及ぼすthyrotropin releasing hormone(TRH)の影響
"	下田仁恵	東女医大	s 63	ヒト脳腫瘍におけるガングリオシドの組成分析
"	須藤史子	東女医大	s 63	モルモットの角膜における血管の新生と消滅に関する免疫組織化学的研究
神奈川	※島田栄子	久留米医大	s 60	抗精神病薬フロプラミン及びその活性代謝物クロスビプラミンの血漿中同時測定の意味
山梨	※若月福美	東女医大	s 56	サルコイドーシス眼所見の統計学的検討
愛知	相澤いづみ	愛知医大	s 61	Alzheimer型老年痴呆及び脳血管性痴呆における髄液中神経ペプチド濃度に関する研究—somatostatin thyrotropin releasing hormone β-endorphinについて—
長野	青木記美子	昭和大医	s 48	聴性脳幹反応の判定に関する研究—第一報 反応の有無の判定— 第二報 反応域値の決定—
"	降旗章子	東女医大	s 60	体表面遅延電位分布の検討による左室内微小電位分布推定と心室心拍の子測
石川	※疋島ひろみ	自治医大	s 53	ラット脳血管における血管老化に関する研究—すべての脳血管は同時に老化するか—
大阪4	岩田以津子	東女医大	s 58	ヒト妊娠におけるエンドセリンの動態
京都	井手真理子	京都府立医大	s 60	三次元化学シフト画像法によるMULTI-VOXEL H-MRSの実用化と脳代謝画像の検討
山口	※大草知子	島根医大	s 58	Conformational Change of the Foot Protein of Sarcoplasmic Reticulum as an Initial Event of Calcium Release.
福岡	秋吉都美	福岡医大	s 59	急性骨髄性白血病と慢性骨髄性白血病急性転化における分子遺伝学及び細胞遺伝学的検討
"	※川村暢子	九州医大	s 58	非切除、非細胞癌の放射線治療における子後因子
"	臺丸尚子	広島医大	s 54	肺サルコイドーシスの子後因子の解析—断面調査法に基づいた臨床研究—
"	水戸布美子	長崎医大	s 56	Stimulation of thyroid adenylate cyclase activity by sera from patients with non-thyroidal illness.
大分	塩月由子	東女医大	s 54	自閉症の妊娠中・分娩周辺期新生児期危険因子の検討

- ・コンGRESバッグ試作品について検討。
- ・お土産の額面試作品について検討。

- ・京都JTBよりアバンテールホテル、ホテル京阪、新都ホテル予約金の請求あり。(アバンテールホールには全額、ホテル京阪、新都ホテルには各一〇〇万円支払う。)
- ・パーティーのアトラクションについて日程の調整を行う。
- ・基調講演の演者決定。

5月21日(金) 佐藤秩子先生(愛知医科大学、加齢医学研究所、所長)「日本における百歳老人について」(英語)

5月22日(土) 松原純子先生(東京大学医学部、疫学教室、助教授)「二十一世紀の環境と健康リスク」(日本語)

- ・英文毎日、ジャパントイズより西太平洋地域会議について記事掲載の案内あり(両社とも有料)。検討の結果掲載は不要とする。

五、その他

(1) 職員就業規則について
別紙、配布資料に基づき検討、決定。平成4年12月1日より施行。

(2) 吉岡弥生賞審査委員会、荻野吟子賞選考委員会開催日について
平成5年2月27日(土)に開催。

(3) 職員冬期賞与について

平成4年12月10日、二・七ヵ月
分支給。以上

会員動静

新卒入会(敬称略)

北海道支部 佐藤和恵 清水亜紀
山形支部 鈴木久子
埼玉支部 佐藤安紀子

東女医大内支部 石山香恵
近田直子 仲野弥生
都下東支部 中瀬 綾
愛知支部 大野孝子 木村未香

新潟支部 黒田ゆかり 筑紫さおり
上久保貴子
大森さおり

石川支部 久藤純代
滋賀支部 畑下 文
大阪第3支部 山口朝子

大阪第6支部 石井伸子
大阪第10支部 串田恵美
中野佳津

京都支部 吉岡美紀
広島支部 松本明子
鳥取支部 斧澤克乃

愛媛支部 池川敦子
福岡支部 赤須真紀 横山奈実
久保田郁子

熊本支部 清藤千景
入会会員(敬称略)

青森支部 大垣節子 大津幸世

角田由美子 永山浩子
宮城支部 吉田晶子
福島支部 羽田都喜子
茨城支部 采 紀子 矢数とも子
新宿支部 福島美智子
杉並支部 中里恵美子
港支部 田中朱美

目黒支部 遠藤真理子
東女医大内支部 清水明美
都下東支部 吉村晶子
都下西支部 佐藤良美

神奈川支部 松田久美子
愛知支部 阪井邦枝 相澤いづみ
長野支部 青木記美恵
京都支部 井手真理子

広島支部 野島博美
香川支部 大内通江
福岡支部 川村暢子 木戸文子
水戸布美子

退会会員(敬称略)
埼玉支部 菊地愛子 越川法子
板橋支部 沖永公江
世田谷支部 大沼田あや子

豊島支部 小幡瑠璃子
中野支部 大井美智江
港支部 落合はな
神奈川支部 高橋佳代子

静岡支部 月岡米子
愛知支部 平岩紀子
大阪7支部 小林田鶴子

大阪10支部 市原初恵
京都支部 北村艶子
香川支部 水原宏美
大分支部 日野俊子

物故者(敬称略)
群馬支部 市川長子

岐阜支部 小林倫子
新潟支部 登戸美代治
岡山支部 石井雅枝
香川支部 横井二三恵

編集後記

諸先生には、輝かしい新年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。会長山崎先生の巻頭言にございませうように、今年は国際女医学会西太平洋地域会議が、京都で開催されます。日本で開かれるのは、十八年に一回ぐらいですので、この機会をお見逃がしなく、ぜひふるってご参加下さい。外国の女医さんの在り方を肌で感じ、交流の場となさいますように願っております。

前号の編集後記で、小田先生がお書きくださいましたが、今回は日本医師会生涯教育受講シールが交付されます。ぜひぜひふるってご参加下さいませう、重ねてお願い申し上げます。

人間は、清らかで穢れないものに心惹かれると申します。社会生活を営んでいく上で、また複雑な人間関係の中で、清らかな心をもって生きていくことが正しい道であり、またもつとも大切な価値観であると教えられてきました。しかし現在の世情はいかがでしょうか。眉をひそめ

福岡支部 柴田富美
佐賀支部 長谷川八千代
熊本支部 佐藤久喜

○庭先に南天の実の鈴生りて
○蒼空に月消えかき茜さす
富士の白峰遙かに聳ゆ (中濱)

平成5年1月20日 印刷
平成5年1月25日 発行
編集人 稲 生 襄
発行人 日 本 女 医 会
発行所 東京都渋谷区渋谷2-1-7 青山宮野ビル
社団法人 日本女医学会
〒三九八-1057
制作 東京都文京区水道1-5-16
株式会社 金剛出版